

## 記者会見

### 「株式会社キャピンの株式取得に関するお知らせ」

開催日：2006年4月19日

#### 出席者

株式会社キャピン 代表取締役社長

吉江 謙二

株式会社ファーストリテイリング 代表取締役会長兼CEO

柳井 正

株式会社ファーストリテイリング 事業開発部 部長

清水 将浩

## ご挨拶

### 株式会社ファーストリテイリング 事業開発部 部長 清水将浩

それでは、お手元の資料に沿って、ご報告させていただきます。

ファーストリテイリングは、婦人服専門店を展開する株式会社キャピンの株式 11,547,000 株を、大和証券エスエムピーシー・プリンシパル・インベストメンツ株式会社様より取得するにあたり、本日付で株式譲渡契約を締結いたしました。この株数は、キャピン様の発行済株式総数の 25.70%、議決権所有割合の 28.86%に相当します。今回の取得の結果、当社はキャピン様の筆頭株主となります。これを契機として、キャピン様との包括的な業務提携を前提とし、ファーストリテイリング・グループとして婦人向け衣料事業を強化していきたいと考えております。また、キャピン様を当社の持分法適用関連会社として位置付け、グループ全体の企業価値の向上を図って参りたいと思います。

今回の株式取得は大和証券エスエムピーシー・プリンシパル・インベストメンツ様の保有されている全てのキャピン株式の取得でございます。

最後に、株式会社キャピンが当社の持分法適用関連会社となることで、当社の平成 18 年 8 月期の連結業績に及ぼす影響は軽微ではありますが、詳細につきましては、明らかになり次第、お知らせ致します。私からのご説明は以上です。

### 株式会社キャピン 代表取締役社長 吉江謙二

ファーストリテイリング様より当社に強い関心を抱いていただき、また、柳井会長から当社の将来を私どもの身になって考えてくださいました。一緒に組むことでより強力で強い企業、より成長していける企業になっていけるだろうというお話を何回か続けさせていただくうちに、私どももファーストリテイリング様と一緒にやっていきたいということになりました。

当社から見ますとファーストリテイリング様は、教育、情報システム、生産システムなどあらゆる分野で強力なインフラをお持ちでいらっしゃると思っています。そのインフラすべてにおいて共用できるかは分かりませんが、当社の中にうまく組み込んで、確実な収益性、スピードのある成長性企業になれるような、友好的な関係を作っていけると確信しております。

今後の具体的な内容につきましては、細部を詰めている段階です。今後、決定次第またお知らせする機会があるかと思っております。今回は大枠で方向性を定め、それを当社もきちんと理解した上で進められているということをご理解いただきたいと思います。

### 株式会社ファーストリテイリング 代表取締役会長兼CEO 柳井正

伝統のあるブランドのキャピンさんと一緒に成長していけるというのは非常に嬉しいことだと思っています。先ほど、ファーストリテイリングのインフラが強いということを吉江社長が言われましたが、

我々も婦人衣料という分野に関してはキャビンさんからいろいろ勉強させていただけるのではないかと考えております。お互いに日本の小売業発展の礎になっていけるといいますし、お互いの相乗効果は今後、話し合っ出ていけるといいます。今から将来に向かって色々なことについて話し合いをさせていただいて、一緒になって成長できればと考えております。

## 質疑応答

(主な質疑応答の内容につきましては、ご理解いただきやすいように部分的に加筆・修正をしております。)

Q1: 今回のお話はいつぐらいから話が出てきたのでしょうか？

清水部長: 2月の終わりから3月の頭くらいにかけてから、金融機関を通じてありました。

Q2: 柳井会長に伺いたいのですが、キャビンさんの婦人服のどういうところに魅力を感じられたのでしょうか。

柳井会長: キャビンさんに関しては、SPA の先駆けだと思えます。昔、メーカーさんから小売店さんに転身されたということ、いろんなブランドを手がけておられ、いろんなタイプの婦人服に対するノウハウや人材をお持ちだと思っています。そういったものがユニクロにとっても勉強になると思っています。

Q3: 持株比率は25%程度ということですが、今後比率を高める考えはありますか？

柳井会長: 比率を高めるということよりも、まずやることはお互いに知り合うといったことですので、そういったことからまず始めたいと思います。

Q4: 取得金額は？

清水部長: 約77億円です。

Q5: ファーストリテイリングさんからキャビンさんに人を派遣するということはあるでしょうか？

柳井会長: 今から話し合います。まだ何も決まっていません。

Q6: 両方でプロジェクトチームを作るとかワーキンググループを作るとかあるかと思うのですが、協力の進め方については何か合意していることはありますか？

柳井会長: 今からプロジェクトチームを作って進めようという段階です。

Q7: ファーストリテイリングの生産管理システムを全面的にキャビンさんの生産に活用するのでしょうか？ 商品は相当変わるのでしょうか？

吉江社長: キャビンでやっているブランドのオリジナル性が損なわれることがあれば活用することはデメリットになりますので、どの部分を活用すればより優れたものができるということで考えていきたいと思えます。物作り以外でも、情報システム、店舗運営、店舗開発、教育システムでファーストリテイリングさんから勉強させていただくことがあると思えます。今回の決定は商品自体がそのまま一緒になっていくということではありません。そういうインフラで協力していく中でキャビンも大きく成長していくという形を模索していくということです。

以上